



あんどうとよさく  
安藤豊作

## 積極的な職員研修を

～課題を検証し実効性を高めます～

質

本市は、将来の健全な市のあるべき姿を目指し、行財政改革に取り組んでいる。その中でも、総人件費の抑制が大きな課題であり、職員削減計画が進められる中、今後職員には事務量の増加や、より高い業務遂行が求められるが、職員研修の実施状況は。

答 市長

職員研修については、「研修に関する規程」や「人材育成基本方針」に基づき実施しています。

質

研修成果と課題は。

情報や課題を共有し危機感を持ち、高い理念を目指す職員の養成が求められているが。

また、本年度から「勤務評定」制度が導入されたことから、評定において導き出される課題などを検証し、研修の実効性を高め、各職員に求められるスキルの向上を図りたいと考えています。

答 市長

職務能力の向上に一定の成果は上げているものと理解しています。

一般研修は、全職員中改革「プラン研修」などを実施し、延べ36人が受講しました。また、特別研修では、専門的技術の習得のための職務研修や職務級ごとの基本研修に、延べ121人が受講しています。

答 市長

「自らの職場における課題を自らが解決する」という目的を持つて、職場内研修を推進しています。



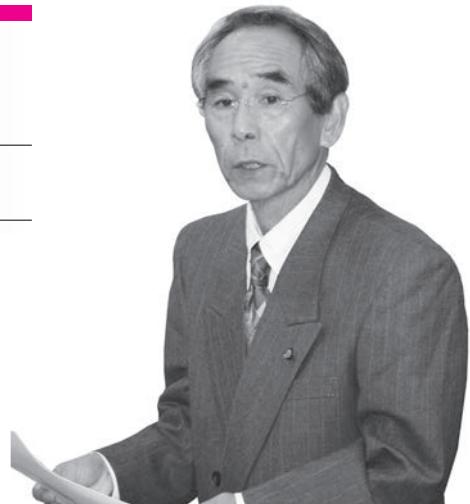
主事・主任級研修での  
アイマスク、高齢者疑似体験

**質**

市税および使用料などにおける未収金が増加している。

**市税などの収納対策は**

～県税務職員の派遣を依頼～



みや なり あき よし  
**宮 成 昭 義**

**答**  
市長

未収状況をどのように捉え、収納向上対策に取り組んでいくのか。

収納体制については、収納課を中心に、各支所に1人の兼任職員を配置し、5月と12月に管理職全員で特別滞納整理などに取り組んでいますが、未収金は増加の一途をたどっています。

県に職員の派遣を依頼するとともに収納体制を見直し、関係課をあげて収納強化を図っています。

**扶助費での医療費抑制は**

～嘱託医により助言指導～

**質**

生活保護費は、8種類からなる扶助費により支給されているが、その中でも医療扶助費が6割以上と突出している。

その医療扶助費における抑制にどのように取り組んできたのか。

**答**  
保健福祉部長

医療扶助については、10割支給であり、生活扶助に比較しますと高額となる状況にあります。

抑制指導については、嘱託医による専門的判断や助言指導、毎月の診療報酬明細書に対して職員による内容確認の点検を実施するなど、医療費の適正な支出に向け努めています。

**有機農業の振興策は**

「減農薬・減化学肥料で」

**質**

本市の有機農業の推進と取組状況は。

**答**  
産業経済部長

環境保全型農業の推進に取り組む中で、「豊後大野市安全・安心農

業推進計画（仮称）」を本年度内に策定する予定であり、市とともに方針を明確にするとともに、具体的な取り組みが図られるような推進計画を立てたいと考えています。



有機栽培の圃場（緒方町）